

【朝日町】 校務D X計画

朝日町では教員の多忙化解消に取り組むとともに、教員が意欲的に働くことのできる環境づくりを進め、また教職員の業務の負担軽減や効率化を図るため統合型校務支援システムを導入している。また、1人1台端末を積極的に活用しペーパーレス化やクラウド活用による効率化を実施する等の校務デジタル化進めている。生成A Iを校務に活用する等さらに校務D Xを推進し教職員の負担軽減・業務効率化を図る。

1 ペーパーレス化の推進

お便りのデータ配信や各種アンケートでの入力フォームによる収集など保護者への配布物のペーパーレス化を実施している。校務においてもクラウド活用によるデータ共有により、学校間や職員研修等の資料のペーパーレス化を進めている。

2 次世代の校務支援システムの整備

教職員が校務支援システムや学習支援システム等のそれぞれのデータを一体的に活用できるよう、クラウドシステム間データ連携や校務系・学習系のネットワーク統合等の環境整備を行い効率化を図る。

3 デジタル教科書・デジタルA Iドリルの活用

全学年においてデジタル教科書を導入しており、授業や家庭学習に活用している。1人1台端末を毎日持ち帰っていることから、紙の教科書を学校に置いたまま端末のみを持ち帰る「らくらく登校」を実施している。デジタルA Iドリルにおいても宿題や家庭での自主学習に活用している。

4 I C T支援員の配置

朝日町では町立学校に毎週1～2回程度I C T支援員を配置しており、校務や授業の補助を行っている。GIGA スクール構想により急激にI C T環境が変化したことからI C T支援員の配置は教職員の負担軽減につながっている。

5 生成A Iの活用

校務・授業において生成A Iを活用している。校務においてテスト問題やあいさつ文、部活動の指導、お便り等のたたき台の作成として活用している。